

心のバリアフリーの実現に向けて

その「本気度」は本物か？

経営企画部 倉田 秀道

MS&AD あいおいニッセイ同和損害保険

社会背景

市場

経済的背景

高齢化

1964年

未成熟

効率性

働きづくめ

約6%

共生社会

Div & In

働き方改革

2020年

成熟

約30%

メッセージ（1）

～スポーツ指導現場の経験から～

キーワード 「国際スタンダード」

スポーツの世界では、海外は「オリパラ一体」

- 欧州では特別支援学校がない
- 欧州では部活がない＝地域スポーツクラブ
- 欧州ではオリパラのトップチームと一緒に合宿

したがって、

欧州では物心ついたころから障害の有無の意識はない
「共生社会」も「心のバリアフリー」も当たり前

フィンランド・スキートネルでの気づき ～オリパラ選手と一緒に遠征～



「混ざり合う社会」あるべき姿



あいおいニッセイ同和損害保険 では

1. 環境づくり

障がい者雇用 2. 41%

2. 具現化する

(1) 社内研修、職場討議

(2) 障がい者スポーツ支援

応援を中心とする支援を通じて、社員とアスリート当事者の意識を変える
その上で、

パラアスリートの活躍の場づくりを具現化

メッセージ（２）

キーワード 「地域」

自治体と連携した取組み = 地域課題と連動

- 講演会
- パラスポーツ体験会
- ダイバーシティセミナー
- 小学校での体験授業

パラアスリートへの
社会での
活躍の場をつくる

みんなでパラを応援

「みて」「感じて」「考える」

2018年度 全国27大会（国内）



海外拠点でも実践

ロンドン、タイなど



パラアスリート雇用

アスリート 20名
うち、パラアスリート 14名



パラアシリート雇用

職場では一般社員とともに働く



講演会



体験会



小学校体験授業



大学教育へ反映

若い世代への意識づけ、考える場を提供

